家庭教育の意義と役割

一家の太陽、
それが母親・お母さんです。

子どもに対する親の愛情を測る、
　バロメーター・物差しとは何でしょうか。

↓↓

　ご自分のお子さんの良いところが、幾つ言えますか。
　頭の中で考えて見てください。

↓↓

　良いところをたくさん見つけるためには、
　できるだけわが子を誉めることをし続けることがとても大切です。
　叱ることはできるだけ控えめに。

　わが子の気持ちがわかる親は、
　悪いところを責める親ではなく、良いところを誉めて伸ばす親です。

　１年生、始めての中学校生活
　心も体も、とても疲れます。

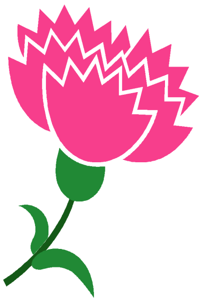
↓↓

　親の思いやりといたわりが何よりの特効薬です。

↓↓

↓↓

　朝起きて、「大丈夫、今日も学校へ行きたい。」
　こんな気持ちに子どもがなることが大切です。



家庭のしつけ３原則

1．おはようございます

朝起きてすぐ、家族に元気に朝の挨拶ができる子に。
そのためには、お母さんが毎日子どもに元気に
「おはようございます。」
と、呼び水としての挨拶をし続けること。

２．はい

家族に呼ばれたら、元気にはっきりと返事のできる子に。
そのためには、お母さんが家族に呼ばれたら、元気にはっきりとした返事をし続けること。

３．靴は必ず揃えます。
椅子はきちんと片付けます。

はきものを脱いだとき、自分できちんとそろえる子に。
椅子から立ったとき、自分でしっかりしまえる子に。
そのためには、お母さんと家族全員で心がけてし続けること。

「しつけ」は、
まず親が「しつづける」こと。
↓↓
近道は、ありません。
↓↓
↓↓
学校でも、まず、教師がしつづけます。
↓↓
子どもが、しつづけるようになるまで、決して諦めません。

母親の与える心の養分

1．温かくてやさしい言葉、
　優しい言葉で優しい子どもが育ちます。
2．にこやかな笑顔
　母親の笑顔ほどこの世の中で美しく懐かしいものはありません。

父親の与える心の養分

1．人の生き方について心の持ち方の種まきをすること。
2．世の中が如何に甘くないかを知らせること。
3．人の一生の目標について考えること。

「共生」の中の「個性」

共に生きる中でこそ個性が発揮できる。
人に生かされているのが人生。
中学生、父親の出番です。
自分の思い・生き方を語って欲しいと思います。